

生物種の絶滅

オオカミの再導入

アメリカ合衆国のイエローストーン国立公園では、キーストーン種であるオオカミが絶滅したことにより、大形のシカやヒツジが増加し、植生や他の哺乳類の生息分布にも影響が生じた。

そこで、イエローストーン国立公園では、1995年からオオカミの再導入を行った。賛否両論がある手法ではあるが、シカの個体数が減少したり、分布が確認されたりと、ヒツジやビーバーが再び現れたり、失われていた生物間のつながりが再生され、生態系に一定の回復が見られた。

